

JOA 設立 35 周年記念第 36 回 JOA セッション

## TOKYO 2020 レガシー

クーベルタンの理想と国立競技場からの展望

2013 年、東京は晴れて 2020 年オリンピック・パラリンピックの開催地に選ばれました。どのような大会にするかについては、様々な観点から検討されることとなりますが、特に大会後のレガシーを見据えた上で検討・推進されることが重要です。

2020 年大会のレガシーについては、開催計画書にすでに示されたアイデアがあるわけですが、今回のセッションではあらためてレガシーを構想したいと考えております。そのための手がかりを二つ用意しました。「クーベルタンの理想」と「国立競技場」です。

前回の 1964 年東京大会招致を機に建設された現在の国立競技場は、オリンピックの大会期間中からおよそ半世紀にわたる歩みを通してその名声を高め、アスリートはじめ多くのスポーツ関係者の聖地となりました。オリンピック・レガシーとしての国立競技場の価値や発展を振り返り、2020 年大会のレガシーを構想する際のヒントを探ります。

また、今年はクーベルタン生誕 150 年の節目に当たり、JOA ならびに日本の研究者 2 名に記念メダルが授与される運びとなりました。授賞式のため、クーベルタン家のアントワーン・ド・ナバセル氏が来日されるのを機に、あらためてクーベルタンの理想に触れ、2020 レガシーを展望できればと考えております。

オリンピックの原点ならびに前回大会の代表的な遺産より未来のオリンピック・レガシーを見渡す試みです。活発な議論になるよう多くのご参加をお待ち申し上げます。

日 時 : 2013 年 12 月 8 日 (日) 13 時～20 時

会 場 : 明治大学《駿河台キャンパス》リバティタワー10 階 1103 教室

主 催 : 特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー

後 援 : 国際オリンピック委員会、国際オリンピック・アカデミー

国際ピエール・ド・クーベルタン委員会

外務省

文部科学省

一般財団法人嘉納治五郎記念国際スポーツ研究・交流センター

公益財団法人日本オリンピック委員会

独立行政法人日本スポーツ振興センター

公益財団法人日本体育協会

公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

特定非営利活動法人日本オリンピック協会

一般財団法人日本パラリンピアンズ協会

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団

協 力 : 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム

## 第1部 シンポジウム「TOKYO 2020 レガシー 国立競技場からの展望」

2020年東京大会のレガシーとして何を期待し、なぜそれを望むのか。あらためてこの問題にアプローチするに当たり、本シンポジウムでは、間もなく取り壊される「国立競技場」（国立霞ヶ丘陸上競技場）に着目する。

オリンピック・レガシーという観点からこのスタジアムの半世紀を振り返ることで、いかなる恩恵を生んできたかを確認したい。その上で、東京と日本、周辺地域と世界の国々の発展とオリンピック・ムーブメントの更なる普及推進に貢献しうる2020レガシーのヒントを探る。また、新たなナショナル・スタジアムとして新・国立競技場が活かされるレガシーのあり方にも言及したい。

シンポジウムでは、国立競技場と関わりの深い関係者の各々の立場より現在の国立競技場のレガシーとしての価値評価を伺うと共に、2020レガシーに対する期待やビジョンなどを披露していただく。

コーディネーター 嵯峨 寿（JOAセッション&レクチャー委員会委員長）  
後藤光将（JOAセッション&レクチャー委員会副委員長）

## 第2部 ピエール・ド・クーベルタン生誕150年を記念して

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは1863年にこの世に生を受けた。今年生誕150年を迎えたのを機に、国際ピエール・ド・クーベルタン委員会（CIPC）はクーベルタンの思想に合致した長年にわたる功労者や機関に記念メダルを授与することを決定し、日本には3つのメダルが授与されることになった。授賞式には、クーベルタン家を代表するCIPC理事のアントワン・ド・ナバセル氏が来日し、特別講演と記念メダルの授与、受賞者のスピーチが行われる。

続いて、今年8月10日～18日にノルウェーのリレハンメルで開催された第9回国際ピエール・ド・クーベルタンユース・フォーラムの参加報告が行われる。これは、オリンピックによる若者の育成を目指して隔年で開催されているCIPC最大の事業である。

オリンピックの原点であるクーベルタンの思想に思いを馳せ、様々な活動例を参考に、2020年東京大会のレガシーについて考える機会としたい。

コーディネーター 田原淳子（JOAオリンピック研究委員会副委員長）  
和田浩一（JOAオリンピック研究委員会委員）

日 程

12:15 受 付

13:00 開会式

オリンピック賛歌

主催者挨拶 笠原一也（日本オリンピック・アカデミー会長）

御来賓挨拶 文部科学省スポーツ青少年局（依頼中）

13:30～15:30 第1部 シンポジウム

「TOKYO 2020 レガシー 国立競技場からの展望」

室伏広治（中京大学スポーツ科学部准教授）

黒川光隆（スポーツ芸術協会理事長）

南後由和（明治大学情報コミュニケーション学部専任講師）

15:45～17:45 第2部 クーベルタン生誕 150 年を記念して

□特別講演（オリンピック・レクチャー019）

アントワン・ド・ナバセル

（国際ピエール・ド・クーベルタン委員会理事）

□ピエール・ド・クーベルタン生誕 150 年記念メダル授与

□受賞者によるスピーチ

清水重勇（神戸大学名誉教授）

飯塚鉄雄（JOA 顧問・東京都立大学/至学館大学名誉教授）

日本オリンピック・アカデミー（笠原一也会長）

□第9回国際ピエール・ド・クーベルタン ユース・フォーラム参加報告

筑波大学附属高等学校 中塚義実教諭ほか参加生徒

18:00 閉会式

主催者挨拶 藤原庸介（日本オリンピック・アカデミー副会長）

18:15～20:00 懇親会

（クーベルタン生誕 150 年記念メダル受賞祝賀会を兼ねて）

リバティタワー23 階 宮城浩蔵ホール ＊会費制

## JOA セッション 参加申し込みについて

方 法：Eメール、またはファクシミリ（別紙に記載の上送信してください）

\*電話でのお申し込みはお受けできません

申 込 先：第36回 JOA セッション事務局 成瀬和弥

naruse@taiiku.tsukuba.ac.jp （029）853-6360（直通）

締め切り：11月29日（金）

記載事項：「件名」に「JOA セッション参加申込」と記載し、以下についてお知らせ下さい。

- ①氏名、②勤務先（学生の場合は学校名、および学部生・大学院生の別）
- ③住所、④電話番号、⑤会員種別（正会員/一般会員・非会員）
- ⑥懇親会（会費制）の出欠

参加費：会 員 1,000 円    非会員 1,500 円    学生は無料

懇親会費：会 員 7,000 円    学 生 5,000 円

\*参加費、懇親会費とも当日受付にて頂戴します

### 会場案内



**会 場：** 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー10階1103教室

**懇親会：** リバティタワー23階宮城浩蔵ホール

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩3分

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」より徒歩5分

都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町駅」より徒歩5分

